

2020 年 3 月 1 日

労務デューデリジェンス報告書



社会保険労務士法人リンケージゲート

労務デューデリジェンス報告書 目次

1 調査概要	1
1.1 本報告書について	1
1.2 結果概要.....	1
(1) 従業員構成.....	1
(2) 潜在債務.....	2
(3) 懸念事項.....	3
(4) 総評.....	3
2 簿外債務	4
2.1 社会保険料未払いの簿外債務.....	4
(1) 結果要約.....	4
(2) 調査結果の根拠.....	4
2.2 未払い賃金の簿外債務.....	6
(1) 結果要約.....	7
(2) 調査結果の根拠.....	7
3 偶発債務	9
3.1 社会保険未払いの偶発債務	9
(1) 結果要約.....	9
(2) 調査結果の根拠.....	9
3.2 未払い賃金の偶発債務.....	10
(1) 結果要約.....	10
(2) 調査結果の根拠.....	10
4 懸念事項	32
4.1 正社員のみなし労働時間超労働	32
4.2 年俸制社員の基準外賃金	32
4.3 退職金規程の遡及適用.....	34
4.4 打刻時間まるめによる賃金未払	34
4.5 年次有給休暇取得時の賃金未払相当額	34
4.6 契約社員の無期雇用転換	34
参考資料：図表目次.....	36

労務デューデリジェンス報告書

株式会社●●●●●● 御中

社会保険労務士法人リンケージゲート
調査担当社会保険労務士 寺林 顕
調査担当社会保険労務士 深江友美

1 調査概要

1.1 本報告書について

株式会社●●●●●●（以下、会社という。）の労務デューデリジェンス業務が完了いたしました。本報告書は以下の基準日における資料等から、人事労務分野の各種法令に基づく、定量的なチェックを行い、作成しました。ただし、開示情報や調査期間が限定的であることから、会社の労務に関するすべての潜在債務が網羅されているわけではなく、特に重要な調査項目を中心とした調査となっています。このため、とりわけ偶発債務の有無及び債務額については、特定の条件下を想定した調査担当者の見解によるものであり、未知の偶発債務が顕在化した場合、本報告書で記載した偶発債務以上の金銭を支払う可能性もあります。

なお、本報告書を貴社以外の第三者に開示したり、第三者が依拠したりすることのないようご注意ください。

【調査基準日】 2020年2月1日

1.2 結果概要

結果概要は以下の通りです。

（1）従業員構成

会社の従業員数は100名、うち正社員35名・契約社員4名が月給制、嘱託1名が日給制、正社員5名が年俸制、アルバイト55名が時給制です。

図表 1-1 従業員構成および各人数・給与形態

雇用区分	人数	給与形態
正社員（月給制）	35名	月給
契約社員	4名	月給
嘱託	1名	日給
正社員（年俸制）	5名	年俸制（月単位の支払い）
アルバイト	55名	時給
合計	100名	

注）役員を除く

(2) 潜在債務

潜在債務額は以下の通りです。

図表 1-2 潜在債務額および内訳

	債務額
潜在債務	●●●●●千円
【内訳】	
簿外債務	●●●●●千円
偶発債務	●●●●●千円

① 簿外債務内訳

簿外債務の内訳は以下の通りです。

図表 1-3 簿外債務の内訳

NO	調査項目	簿外債務額
1	社会保険料未払い額	●●●●●千円
2	未払い賃金	●●●●●千円
合計		●●●●●千円

② 偶発債務内訳

偶発債務の内訳は以下の通りです。

図表 1-4 偶発債務の内訳

NO	調査項目	偶発債務額
1	社会保険料未払い額	●●●●●千円
2	未払い賃金	●●●●●千円
合計		●●●●●千円

(3) 懸念事項

勤務実態等によっては偶発債務になりえる懸念事項は以下の通りです。

図表 1-5 懸念事項

NO	
1	正社員のみなし労働時間超労働
2	年俸制社員の基準外労働
3	退職金規程の遡及適用
4	打刻時間まるめによる賃金未払
5	年次有給休暇取得時の賃金未払相当額
6	契約社員の無期雇用転換

(4) 総評

労働時間の把握は、従業員の長時間労働を防ぎ、時間外労働の管理や給与を正しく計算するために必要です。そのため従業員の労働時間を適切に把握していないと、出社の有無や時間外労働の割増賃金を計算するための根拠がないということになります。

現状では労働時間の管理が徹底されておらず、諸規程及び運用ルールが徹底されていません。また、ほぼ全員の終業時刻が定時となっており、恣意的な打刻時間の変更が行われている可能性があります。労働基準監督署の調査、労働者側からの訴えがあった際には多額の未払い賃金が発生する可能性があります。

また、正社員にのみなし残業代として支給されている固定残業手当については、算定根拠が不明で

<以下略>